

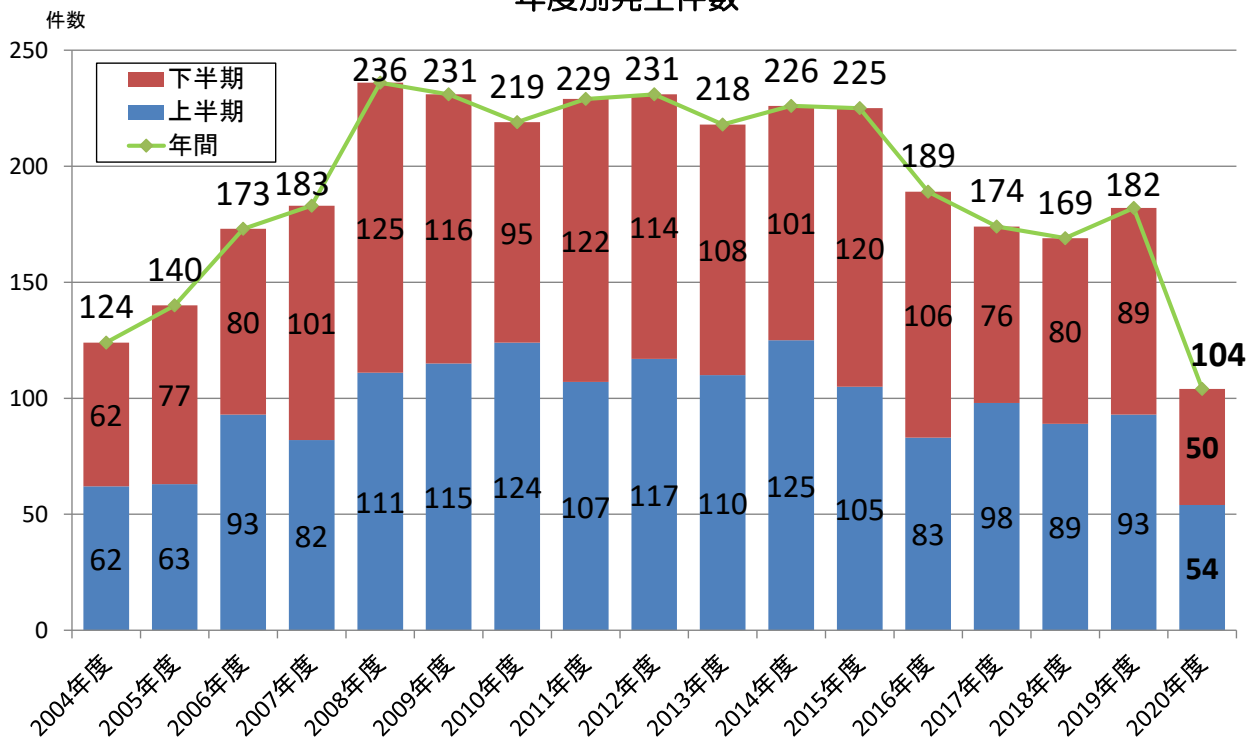
鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (2020年度/大手民鉄16社)

日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における2020年度（2020年4月～2021年3月）に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は104件（上期54件、下期50件）と、前年度に比べて78件減少しました。

2020度においては、2度の緊急事態宣言による移動の制限やテレワークの推進等に伴い、輸送人員が対前年同期と比べて大幅に減少して暴力件数も減少傾向にありますが、依然として100件を上回っております。

暴力行為が発生する状況としては、鉄道係員が迷惑行為を注意した時や、はっきりとした理由が見当たらないケースが多く、時間帯については夜・深夜帯（17時以降）に集中して発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しており、飲酒していることが多いことが見受けられます。犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別発生件数



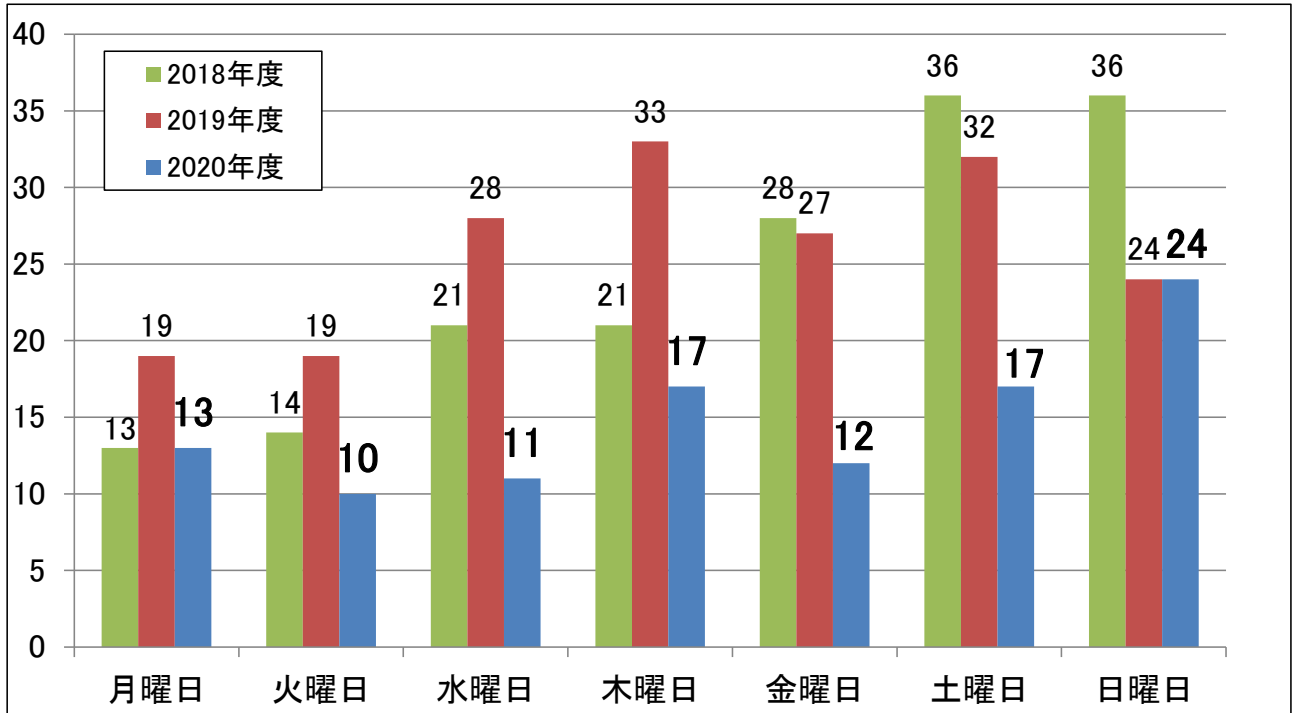
(ご参考) 以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

1. 曜日別 発生件数
2. 時間帯別 発生件数
3. 主な場所別 発生件数
4. 主な契機別 発生件数
5. 加害者年齢
6. 加害者の飲酒状況
7. 具体的事例

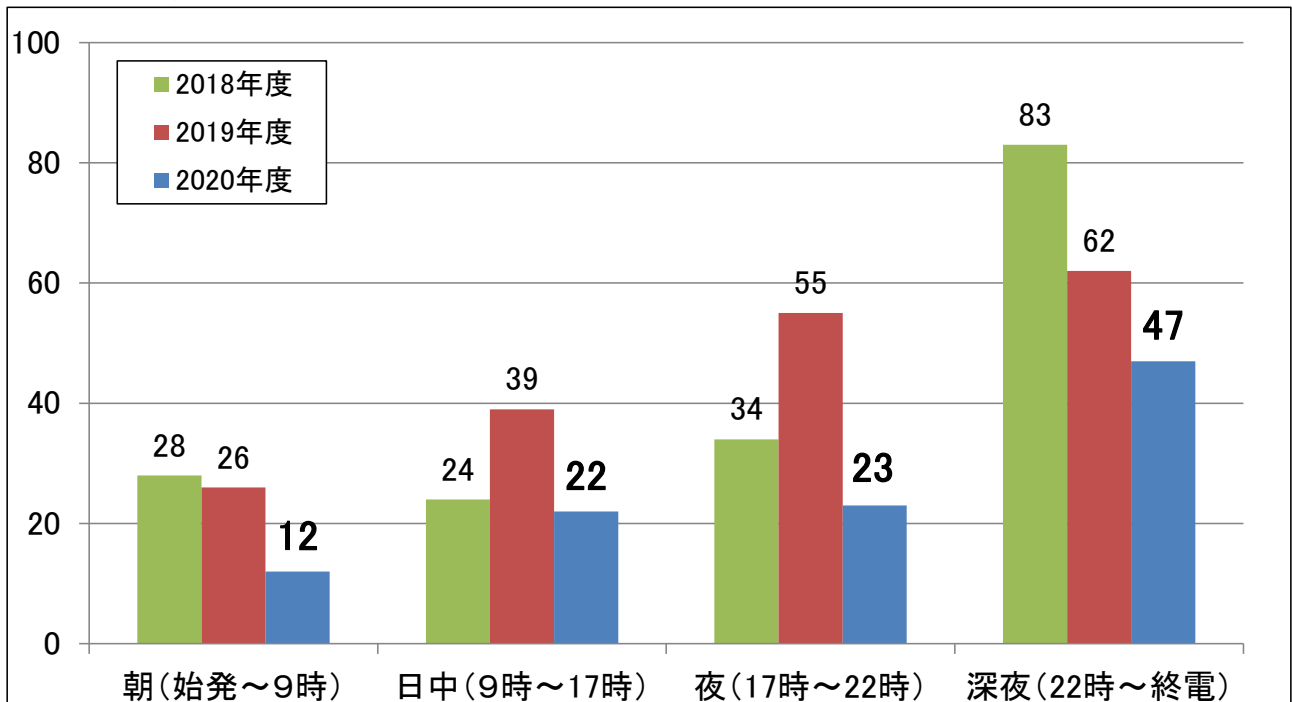
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は、公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等（詳細）

1. 曜日別 発生件数

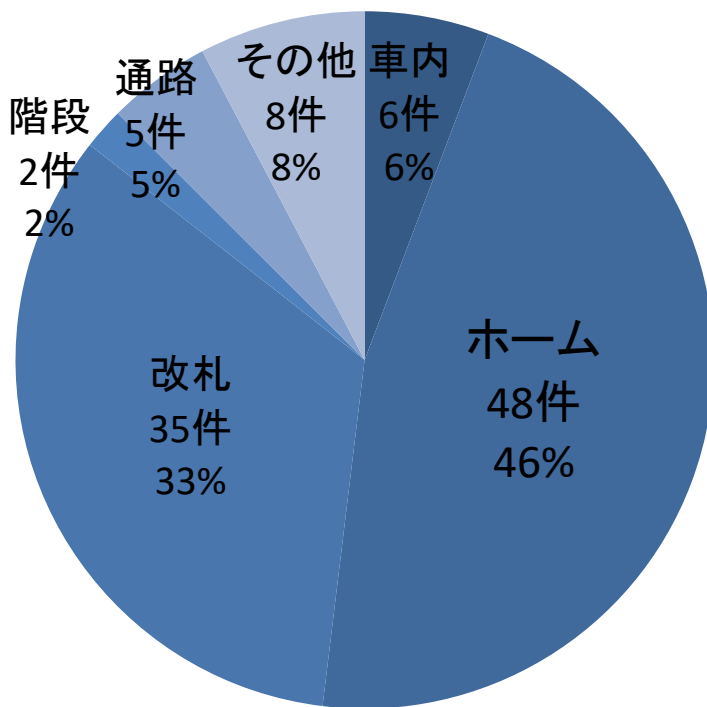


2. 時間帯別 発生件数

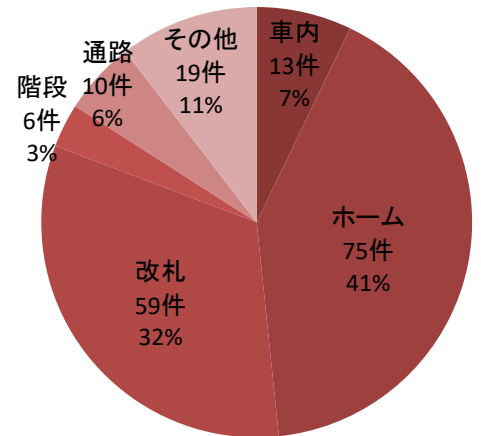


3. 主な場所別 発生件数

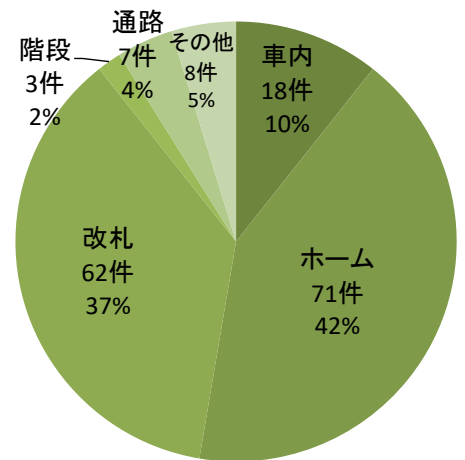
2020年度



2019年度

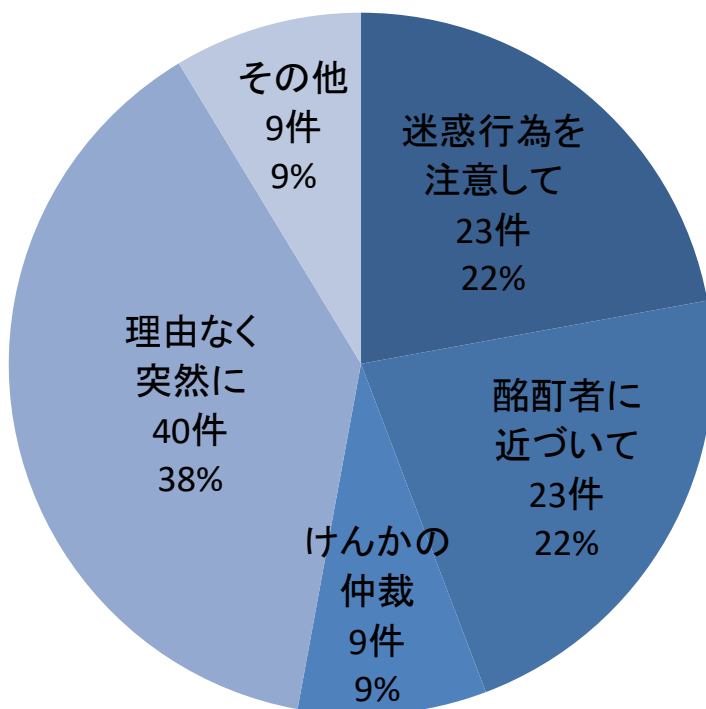


2018年度

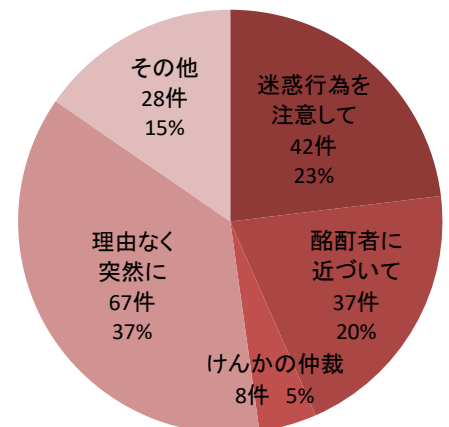


4. 主な契機別 発生件数

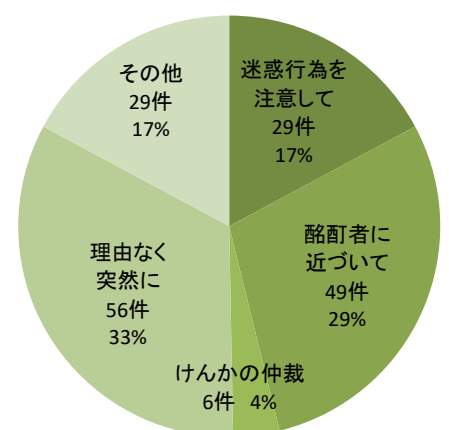
2020年度



2019年度

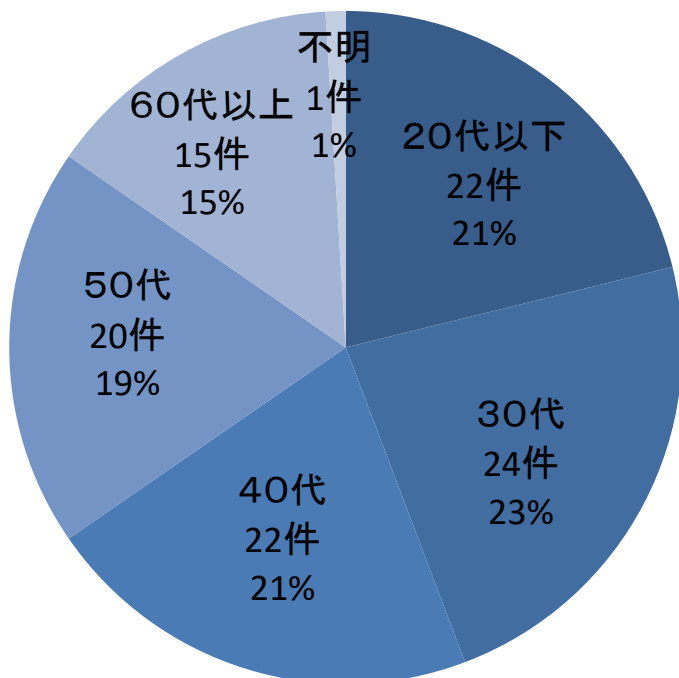


2018年度

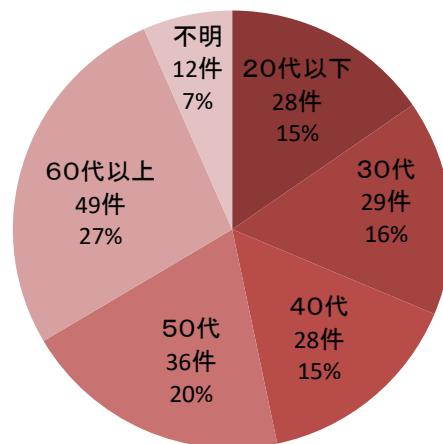


5. 加害者年齢

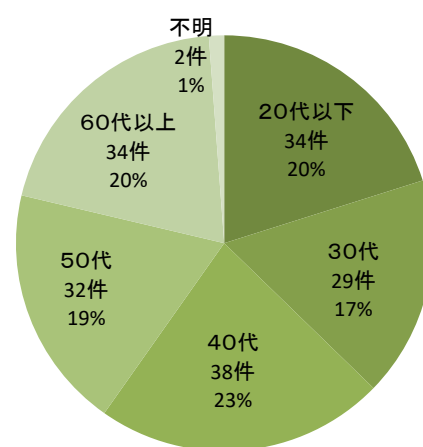
2020年度



2019年度

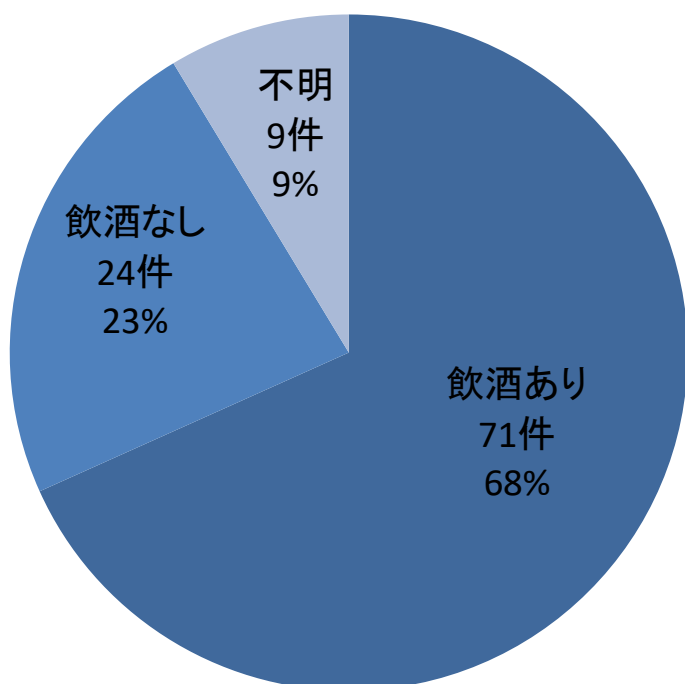


2018年度

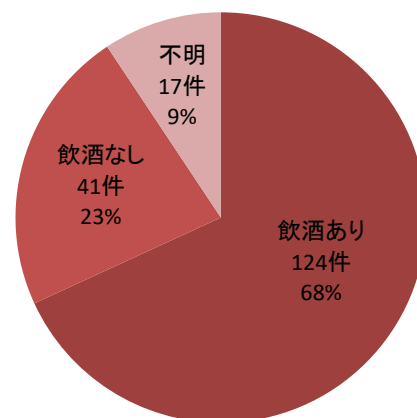


6. 加害者の飲酒状況

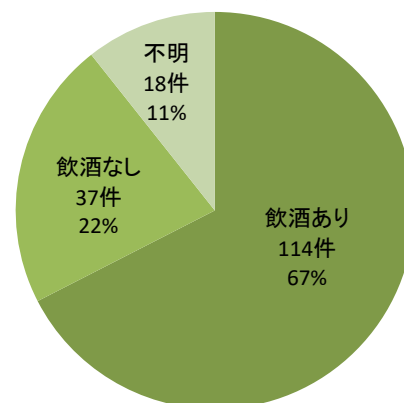
2020年度



2019年度



2018年度



7. 具体的事例

【事例 1】

曜日	日曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	改札
契機	迷惑行為を注意して	年齢	60代以上	飲酒	なし

駅係員が改札勤務中、料金を払わず改札内へ入場した加害者に改札の外に出るよう促したところ、急に胸部を殴打され、負傷した。

【事例 2】

曜日	木曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	60代以上	飲酒	あり

駅係員 A が、階段踊り場で寝ていた加害者に、ホームのベンチに座るよう案内したが聞き入れてもらえず、後から駆け付けた別の係員 B が再度ベンチに座るよう案内したところ、加害者が突然怒鳴りながら暴れだし、駅係員 A の首元を右肘で押しつけた。

【事例 3】

曜日	日曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	けんかの仲裁	年齢	40代	飲酒	あり

加害者と別の旅客が言い争っていたため、駅係員が仲裁に入ったが、加害者から暴言を吐かれた。1人での仲裁は不可能と判断し、別の係員に110番通報と応援の要請を依頼して、再度仲裁に入ったところ、左顔面にいきなり頭突きをされた。

【事例 4】

曜日	水曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	20代	飲酒	あり

加害者が改札内ご案内カウンターの上に腰をかけていたため、駅係員が「どうされましたか」と数回声をかけたが返答はなかった。引き続き声をかけて降りてもらおうよう促すと、突然左側頭部を殴打された。